

問い合わせ先

海上保安庁警備救難部環境防災課

専門官 中林 内線3902

代表 TEL 3591-6361

直通 TEL 3591-9819

平成 21 年 7 月 9 日

海 上 保 安 庁

## 平成 21 年度「海洋環境保全推進月間」の実施結果について

海上保安庁では、「未来に残そう青い海」をスローガンに、6月1日（月）から30日（火）までの1ヶ月間を「海洋環境保全推進月間」として、海事・漁業関係者を対象とした法令順守などの指導及び一般市民を対象とした海洋環境保全の指導・啓発活動を実施しました。

### 「海洋環境保全推進月間」の実施結果

#### 1 海洋環境保全講習会及び海洋環境保全教室

全国各地で、海事・漁業関係者及び事業者を対象とした「海洋環境保全講習会」を38回（参加人数1741名）、訪船指導を528回、事業所を対象にした訪問指導を70回実施しました。

また、一般市民を対象とした「海洋環境保全教室」を206回（参加人数13,329名）開催しました。

海上保安庁では、これらの取組みを継続していくことにより海洋環境の保全を推進していきます。

#### 2 主な活動事例（別紙参照）

- 海洋環境保全講習会（第一管区 浦河海上保安署）
- 海洋環境保全教室（第十管区 熊本海上保安部 第四管区 尾鷲海上保安部）
- 訪船指導（第二管区 気仙沼海上保安署）

## 海洋環境保全推進月間中における主な活動

### ○海洋環境保全講習会（第一管区 浦河海上保安署）

平成21年6月2日、北海道浦河管内において事業を行う海上工事関係者28名を対象に海洋環境保全講習会を行いました。受講者は、日常業務の中で義務付けられる海洋環境汚染防止対策を中心とした講義を熱心に聞き入り、講習会終了後、受講者全員から「法令順守の大切さを再認識することができ、これからも業務を安全且つ円滑に進めるとともに、海洋環境保全対策についても積極的に取組みます」と感想が寄せられました。



### ○海洋環境保全教室（第十管区 熊本海上保安部）

平成21年6月14日、八代海（熊本県宇城市沖）において、地元小学生の巡視艇における体験航海に併せ海洋環境保全教室を実施しました。環境教室では、実際に子ども達による（\*）パックテストを使用した水質調査が行われ、皆、和やかな雰囲気の中にも真剣な眼差しで講師である海上保安官の話聞いていました。

\*パックテスト：簡易水質分析器具、ポリエチレン製の小チューブに試薬が封入されており、使用時は小穴をあけて試験水を吸い込み一定時間後の色の変化により濃度を測定する。



### （第四管区 尾鷲海上保安部）

平成21年6月19日、船越海岸（三重県紀北町）にて（\*）海上保安協力員と協働し、地元小学生と漂着ゴミ分類調査を行いました。同活動は、地元小学校2校と尾鷲保安部が平成15年から共催しており、参加者からは、「海岸に漂着するゴミの量、種類の現状を目の当たりにし、私たちの日常生活に深い関係となるものがゴミとなっている事実を改めて知りました。」と感想が寄せられました。

\*海上保安協力員：沿岸域の防犯活動・海洋環境保全の推進を目的とした（財）海上保安協会のボランティアで、海洋汚染発見に関する通報や啓発活動等を行っています。



### ○訪船指導（第二管区 気仙沼海上保安署）

平成21年6月3日、宮城県気仙沼漁港において、気仙沼市、気仙沼漁協等関係機関と連携し、漁船及びバージ船に対し、漏油による汚染防止のための訪船指導を実施しました。訪船指導時において、漏油原因となる主な事例を記載した気仙沼保安署作成のリーフレットを配布し、近年、汚染物質確認件数で最も多い油濁汚染防止対策の普及啓発に努めました。

